

# えるぼし認定一問一答



～えるぼし認定を受けた会社様にお話をお聞きしました～

(丸昭建設株式会社 様)



(写真：(左) 丸昭建設株式会社 専務取締役 森博頭 様 (右) 新田峰雄 熊本労働局長)

—えるぼし認定に取り組もうと思われたきっかけを教えてください。—

「えるぼし」は以前から知っていましたが、「男性の仕事」というイメージのある建設業ではハードルの高いものだと思っていました。しかし、令和5年度からの経営事項審査において加点の対象になるということにきっかけに、改めてえるぼし認定の内容を読み進めると、決して取得できないものではないとわかり、チャレンジすることにしました。

—申請から認定までの手続きについて不安や問題点等がありましたか。—

例えば「常時雇用する労働者」と「通常の労働者」の違い等、言葉の紛らわしさに多少困惑しましたが、労働局の担当の方に丁寧に教えていただき、手続きを進めることができました。

—今後の女性活躍推進に係る取り組みについての抱負を教えてください。—

建設業は「男性の仕事」というイメージが強く、特に現場の技術者には女性が少ないという現状があります。しかし、少子高齢化による働き手不足や、多角的な視点を持つ人材の必要性といった観点から、最近では現場においても女性の採用が進められています。弊社でも4名の女性技術者を含め、16名の女性労働者が働いております。

今後も女性の活躍を推進しながら、性別や働き方に関わらず、社員一人一人が最大限に能力を発揮し活躍できる職場環境づくりを進めて参ります。